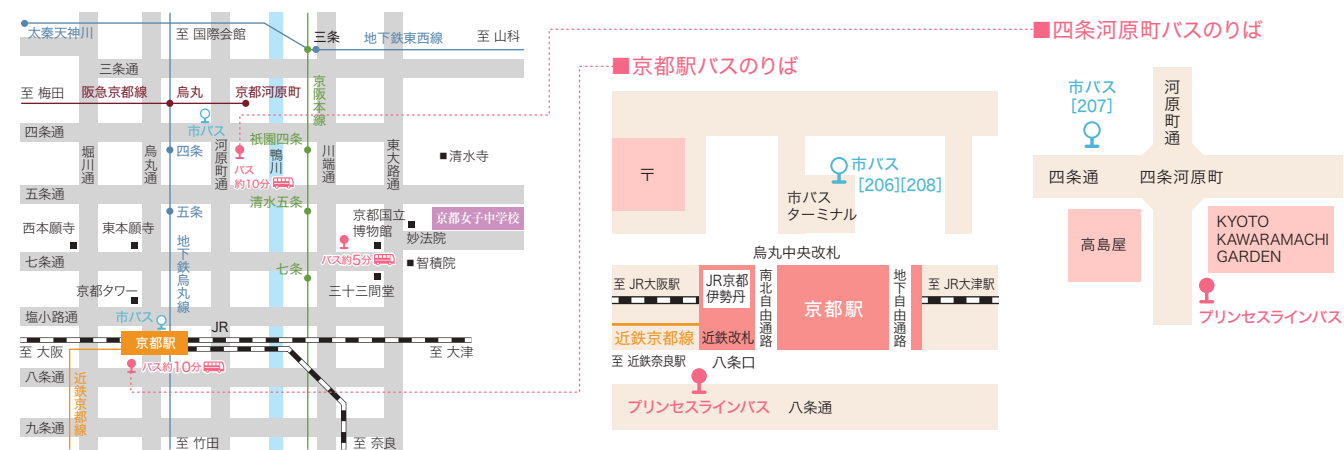
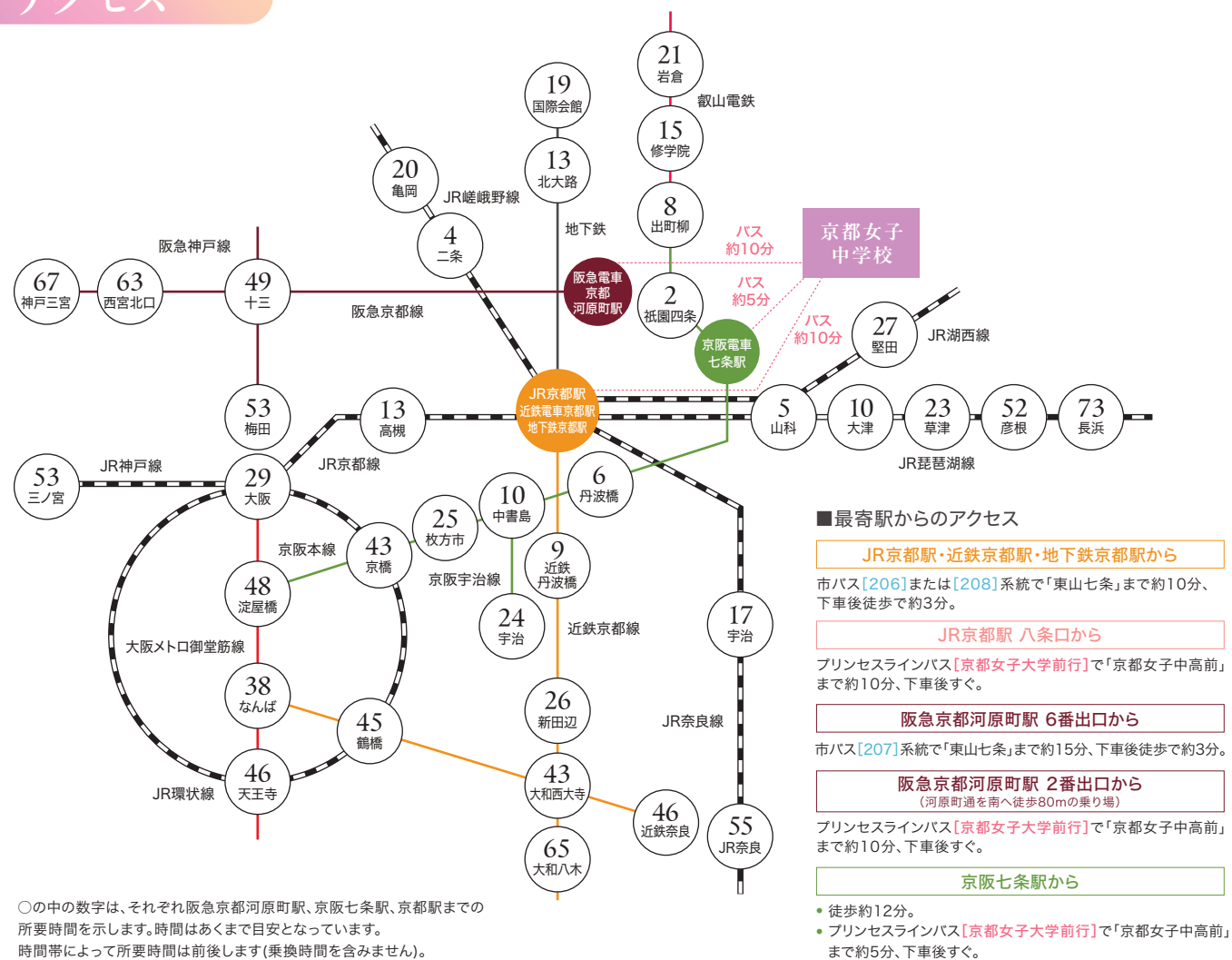




学校見学会

7/19_± 11/22_± 3/14_±²⁰²⁶

学校説明・校内見学・個別相談

入試説明会

9/27_± 11/1_±

学校説明・入試説明・校内見学・個別相談

Kyoto Girls' Junior High School 2026



〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町17番地
入試広報部:TEL.075-531-7334 FAX.075-531-7351
事務室:TEL.075-531-7358
<https://www.kgs.ed.jp/>



100年を超える伝統とともに、新しい挑戦を。

京都女子中学校では
伝統を重んじながら先進的な教育にも取り組み、
優れた知性と豊かな心を兼ね備えた女性の育成を目指しています。

➤ 建学の精神 ➤

京都女子中学校・高等学校は明治32年、浄土真宗本願寺派(西本願寺)との関係が深かった甲斐和里子が創設した私塾「顕道女学院」を前身とし、明治43年、西本願寺ゆかりの大谷籌子・九條武子の「わが国の文化の向上には、婦人の教養を高める必要がある。そのためには、女子に仏教精神に基づく高い教育を受けさせよう」という願いによって創立されました。

本校では、建学の精神を具体的にあらわした次の3つの理念に基づく教育を行うことにより、心豊かな女性に育てほしいと願っています。

自立

自己へのめざめ

自己中心的なわたしが、
生かされていることに
めざめる。

共生

他者へのめざめ

いのちの尊厳と
平等にめざめ、
共に協調して生きる。

感謝

社会へのめざめ

生かされて生きていることに
感謝し、
社会に貢献する。

➤ 教育目標 ➤

豊かな心と高い教養を身につけ、
さまざまな課題に意欲的に取り組み、
自ら解決できる自立した女性を
育成する。

基本的生活習慣を身につけ、自主
活動に積極的に参加するとともに、
自・他のいのちを尊重し、他者と協働
できる女性を育成する。

一人ひとりの進路に適した学力を
身につけるとともに、自己の進路を
切り拓き、感謝の思いで社会に貢献
できる女性を育成する。

伝統と改革の京都女子

沿革

- 1899 顕道女学院を設立
- 1917 京都幼稚園 開園
- 1920 京都女子高等専門学校 開学
- 1924 貞明皇后が行啓
- 1947 京都女子中学校 開校
- 1948 京都女子高等学校 開校
- 1949 京都女子大学 開学
- 1950 京都女子大学短期大学部 開学
- 1966 京都女子大学大学院 設置
- 1969 中高6年一貫教育制度を導入
- 2010 学園創立100周年
- 2020 学園創立110周年
- 2025 新校舎利用開始

Tradition 女子教育

女子だけという環境はジェンダー枠(社会的性差)にとらわれず資質や能力を発揮でき、気づかなかった一面が発見できます。また、自分らしく過ごせることは、安心感や自己肯定感につながります。学習面では、粘り強く努力できる女子の特性を活かした学習メソッドで、着実に学力を伸ばします。

宗教教育

仏教精神、特に親鸞聖人の教えに基づいて心豊かな人間を育みます。宗教行事を通して、自己の尊い不思議な「いのち」が、大いなる力に支えられていることを学び、その学びから「生きる意味」や「生きる喜び」が生まれ、他者の「いのち」を認めて共に幸せに生きる平和な社会の実現を志向していきます。



Reformation コース別探究プログラム

基礎的な学力を高めることももちろん重要ですが、それ以上に大切なことは、知的好奇心旺盛であり続け、知る喜びを存分に味わう感性を持つことです。その楽しみを知ることが学習意欲となり高度な学力習得に結びつきます。

東雲コース 詳しくはP7へ▶

顕道コース 詳しくはP8へ▶

藤華コース 詳しくはP9へ▶

学校行事

京都女子中学校では、様々な行事を生徒自身が企画運営しています。困難もある中で、一つの目標に向かい、仲間と共により良いものを作り上げ、自分一人ではできないことも協働して成し遂げていく。このような経験は今後の大きな財産になっていきます。



2025年 第一校舎「飛翔館」新設 ▶▶▶ 2028年全体完成

第一校舎が完成し、新校舎での学びが始まりました。2027年には体育館、講堂、カフェテリアを備えた第二校舎が完成し、2028年に整備プロジェクトが完了します。

▶▶▶ 本に囲まれた空間「オープンライブラリー」

読書をもっと身近に、魅力的に、刺激的に。校舎内のあらゆる空間に本棚を配置し、生徒の学校生活に密着した場所に本があり、共読スペースで語り合う空間のある、開かれた図書館が実現しました。

詳しくはP15、P16へ▶

心の学園

本学園は大正13(1924)年、貞明皇后(大正天皇の皇后、大谷禰子裏方の妹君)がご来園になり、「あたたかに、そして香りゆかしき心の学校である」とのお言葉をいただいて以来、「心の学園」と呼ばれるようになりました。

Our Spirit

これからの社会で生きる私たちには、伝統を重んじつつ、変容する社会の中で新しい考え方を取り入れ、飛躍できる心が必要です。京都女子中学校では、豊かな心を持ち社会で活躍できる自立した女性を育成します。

6年間のロードマップ

入学時は「**東雲**」「**藤華**」コースのいずれかに所属。
 中学2年生進級時に希望と審査によって3つのコースに分かれます。

「中高併設校」の特長を生かし、スムーズで効果的な学習を可能にする「6年一貫カリキュラム」を設定。難関大学への進学に対応できる先取り学習、中高一貫に適した教材の精選や独自のカリキュラムによって、生徒一人ひとりの学力を効果的に伸ばしています。さらにクラブ活動や多彩な行事を通して、自主性や積極性、他者への共感など6年一貫教育で、豊かな人間性を育てています。





しのめ

東雲コース

報恩感謝の心を持った
人物を育成

だれかの幸せのために生きる、それが本コースの
目指す人間像です。そのためには、他者と協働する
力とともに確かな学力が必要です。その両面を
備え、報恩感謝の心をもった女性を育みます。

◇◇ 目指す進学先 ◇◇

難関国公立大学
＜文系・理系＞



中学2年生より

けんどう

顕道コース

知・情・意のバランスが
取れた医療人を育成

医療人を目指すなら学力を鍛えることはもち
ろん重要です。しかしそれ以上に大切なことは、
知的好奇心旺盛であり続け、知る喜びを存分に
味わえる感性を持つことです。

◇◇ 目指す進学先 ◇◇

国公立大学
＜医療系学部＞

学びの特色

確かな学力

本コースでは進路を実現するための認知能力を重視し、確かな学力を身につけます。3年間のコース特性を生かして、定期考査ごとに「スタディマイチェック表」に取り組み、自主性にもとづく計画的学習習慣を身につけます。

探究プログラムと連動したキャリア形成

探究プログラムでは文系・理系・国際テーマを各学年で設定し、それぞれの専門家からキャリアについてお話を聴く機会が定期的に設けられます。また、中学3年生・高校1年生では京都大学などの大学を訪問し、連携授業の受講だけでなく、学問体系についても学びながらAI時代のキャリアを見出します。

国際教育の推進

高校1年生では探究プログラムで国際問題について学び、異文化を知ることで自文化を発見します。本コースでは自文化を語る手段としての語学教育を重視し、将来のキャリアをみすえてTOEIC受験の機会を設けます。ICT教材のTOEIC対策を利用して高得点を目指します。

学びの特色

建学の精神を具現化する医療人の育成

本校は親鸞聖人の体せられた仏教精神を建学の精神としており、その根本は「あらゆるいのちの平等性」にあります。本校で学んだ生徒が医療人として世に出た時、「病」だけではなくその病を抱える「人」とその「いのち」に向き合える医療人であってほしいと願い、いのちの道を顕らかにするという意味の「顕道」をコース名に冠しています。

京都女子のメソッドを活かした、きめ細かい進路指導

医学部医学科を含む国公立大学医療系学部を目指すための効果的なカリキュラムで、最難関の入試を突破する力を養います。先取り学習と難易度の高い問題に日々取り組むことで、中学の段階から大学入試に耐えうる力をつけていきます。変化が激しい昨今の大学入試も熟知した教員集団が全力でサポートします。また、医療の現場で活躍する卒業生との交流の機会を設け、未来の医療人としての自覚を高めていきます。これまで数多くの医療系合格者を輩出してきた本校ならではのキャリア学習といえます。

POINT 「知りたい」を見つける探究学習

丸善雄松堂様と提携し、中学2年生から高校1年生までの3年間のカリキュラムで、「主体的な学び」「他者との協働」「地域へのコミット」「感謝の心」をキーワードに独自のPBL(Project Based Learning)を実施します。中学2年生では「文化財」をテーマに「クローン文化財の未来」と題して集団プレゼンテーションに、中学3年生では「宇宙科学」をテーマに京都大学宇宙総合学術ユニットのシンポジウムでポスターセッションに、高校1年生では『国際交流』プロジェクトで「異文化理解のための自文化理解（仮題）」と題してディベートやディスカッションに、それぞれ取り組みます。

このプログラムによって主体性や想像力、自己肯定感などの非認知能力をも養い、社会で求められる力を育みます。



カリキュラム

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1年	宗教	国語				社会			数学				理科			音楽	美術	保健体育		技術 家庭	英語				LHR	探究 プログラム										
2年	宗教	国語				社会			数学				理科			音楽		美術	保健体育		技術 家庭	英語				LHR	探究 プログラム									
3年	宗教	国語				社会			数学				理科			音楽		美術	保健体育		技術 家庭	英語				LHR	探究 プログラム									

※このカリキュラムは令和7年度時点のものです。 ※東雲コースと顕道コースは共通のカリキュラムです。 ※カリキュラムは変更する可能性があります。

POINT 現代の「答えのない問い」を考え続ける探究学習

中学2年生から高校1年生までの間、いのちに関すること(薬学、放射線、災害、現代医療、救急救命など)の中からテーマを見つけ、医学部教授などによる講演や施設の見学、ディスカッションやプレゼンテーションなどを通して、課題を設定して協働し考えを深めます。「答えのない問い」を考える姿勢を通して、知・情・意のバランスが取れた医療人を育成します。

特に、中学3年生での研究旅行では放射線に関する学びを行い、東日本大震災の直後から十数年来行っている「放射線ディスカッション」という取り組みに繋がります。生徒たちは放射線について京都大学の先生方から学び、自分たちで問いを立て調査探究して提言に繋がります。福島の実状や社会が抱える諸問題を他人事ではなく「自分事」として捉える姿勢を涵養していきます。



カリキュラム

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
2年	宗教	国語				社会			数学				理科				音楽	美術	保健体育		技術 家庭	英語				LHR	探究 プログラム									
3年	宗教	国語				社会			数学				理科				音楽	美術	保健体育		技術 家庭	英語				LHR	探究 プログラム									

※このカリキュラムは令和7年度時点のものです。 ※東雲コースと顕道コースは共通のカリキュラムです。 ※カリキュラムは変更する可能性があります。



とうか

藤華コース

社会に求められる「生きる力」を
備えた女性を育成

自己を客観的に見つめ、理解することからはじめ、
自分の個性を生かしつつ、多様な人と協働できる
力を養います。そして、社会に対して柔軟に対応
できる力や挑戦する力など「生きる力」を育みます。

◇◇◇ 目指す進学先 ◇◇◇

国公立大学・難関私立大学・
京都女子大学

学びの特色

基礎学力の充実を図り、
目標と実力に合わせて、挑戦する力を育みます。

1年生の1学期は、生活リズムと学習リズムを刻むことが目標です。
学校生活に慣れてきた2学期以降に「自主学習プロジェクト」を
実施し、授業に対する姿勢や日々の課題に確実に取り組む姿勢を
養います。2年生からは、生徒一人ひとりが自分の心と身体の成長
に向き合い、その中で「自分の好き」を探しつつ、進路や目標に向けて
挑戦する力を育みます。

大学の学びを知るワークショップ

キャリア学習の一環として京都女子大学
と連携し、生徒及び保護者を対象とした
ワークショップを2、3年生で実施します。
大学生によるオリエンテーションや大学の
先生方による講義を体験することで、「私が好
きな学び＝私が深く学びたいこと」に出会う
機会を増やし、興味・関心の幅を広げます。

オールイングリッシュの環境で
自分の英語力を試す

3年生の1学期にTOKYO GLOBAL
GATEWAYを訪れ、授業で培ってきた
英語力を発揮し、オールイングリッシュ
の環境の中でのコミュニケーションに
挑戦します。英語で分かる感動と伝わる
感動を味わい、学習意欲を高めます。

POINT 探究学習「食から始まる喜びと感動の環を広げよう」

「食」は生命を維持するためだけのものではありません。「食」は人生を豊かにするものであり、私達に喜びや感動をもたらし、私達の生き方そのものにも影響をあたえるものです。「食」をテーマとする探究学習を通して以下の学びを行います。

中学2年生：地元京都に着目。伝統に触れることで、先人が築いてきた文化を身近に感じることができる環境に感謝し、わび・さびの世界を味わうべく感性を養います。

中学3年生：研究旅行を通して命の尊さを学び、次世代へと続く持続可能な食の実現に向けて私達にできることを考えます。



カリキュラム

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
1年	宗教	国語				社会				数学					理科				音楽		美術		保健体育			技術 家庭		英語						LHR	探究 プログラム	
2年	宗教	国語				社会				数学					理科				音楽		美術		保健体育			技術 家庭		英語						LHR	探究 プログラム	
3年	宗教	国語				社会				数学					理科				音楽		美術		保健体育			技術 家庭		英語						LHR	探究 プログラム	

※このカリキュラムは令和7年度時点のものです。 ※カリキュラムは変更する可能性があります。

答えがひとつではない課題を考える

京都女子中学校の探究授業

今の社会に散在する課題は、答えがひとつでないものばかりです。本校では確かな学力はもとより、確かな人間力の育成を目指しています。身近な「気づき」「驚き」をもとに自分たちで問いを立て、自分たちならではの意見・主張を、根拠をもって述べられるようになることを目標に探究学習を行います。

1年生

1年生の探究では基礎的な力を鍛えていきます。まずテーマを設定し、「誰が」「何が」「いつ」「どこで」「なぜ」「どのように」といった要素を付け加えて問いの内容を深めていきます。1年生で培った問題設定能力をもとに、2年生以降ではコース別の発展的な内容に取り組んでいきます。

問いの設定

- Who (誰が)
- What (何が)
- When (いつ)
- Where (どこで)
- Why (なぜ)
- How (どのように)

を使って
問いの内容を
考える

問いの例を考える

問いを更に深くする



2・3年生

顕道コース

理系テーマの探究



中学2年生では薬科大学の薬草園や製薬会社を訪れ、薬学に関する課題について考えます。また、高校1年生では医科大学を訪問し、講義を受けたり施設を見学したりして学びを深めます。施設見学や、最前線で活躍している方々の話を聞くことによって、医療のあり方を考え、「いのち」を見つめる医療人の心を育てます。

東雲コース

多彩なテーマの探究



各学年で異なるテーマを設定し、将来のしあわせな自分像をみつめる機会にします。令和7年度は中学2年生でクローン文化財の専門家、中学3年生で京都大学やJAXAの研究者、高校1年生で国際日本文化研究センター所長井上章一先生など各界の著名な方に授業をしていただく予定です。さまざまな人や社会とのつながりを感じて感謝の心を育みます。

藤華コース

食がテーマの探究



中学2年生では、京の宇治茶から学びを広げます。茶摘み、茶香服、抹茶を点てる、石臼挽き、冷茶淹れなどを体験。五感を通して感じ、伝統文化を大切にすることを養います。中学3年生では、農業と地域社会が持続可能となることを目標とした新しい農業のカタチを体験。東日本大震災からの復興の「今」を実際に目で見て、五感で感じて、何ができるかを考えます。

探究授業のサイクル



進学サポート

夢を現実に。充実した進路指導で、一人ひとりが輝くことができる未来へ。



本校では、中学生の間は、勉強はもちろんのこと、行事や課外活動、特別授業などで学校生活を充実させ、日々の生活を楽しむことを大切にしています。これらを通して失敗を克服した経験や養われたチャレンジ精神は、高校に入ってから必ず役に立ちます。6年一貫教育の中で、大学以降の人生において必要不可欠な人間力を身につけていきます。

5つの進路サポート

1 全国規模の模試を有効に活用

校内模試として全国規模の模試を採用しています。これらの模試の結果によって、自分の補強すべき科目や分野を理解し、自分の生活習慣や勉強法の改善点がわかるようになっていきます。

- ベネッセ学力推移調査(中学)
- Z会アドバンス模試(中学)
- 進研模試(高校)
- スタディーサポート(高校)

2 進路オリエンテーション

大学の選び方や、受験に関して必要な知識を指導しています。自分を見つめ、勉強する意味をあらためて知る良い機会となっています。

4 充実した補習

高校では、多様な大学入試に対応すべく、長期休暇中にさまざまな進学補習を行っています。

3 面談による指導

生徒と教員の面談を頻繁に行っており、保護者・教員による二者面談も夏期休暇中に行っています。勉強や学校生活の悩みなど親身になって対応しています。

5 保護者向け進路行事

進学状況・大学受験についての説明会や有識者を招いての講演会を行っています。また、毎週保護者対象進路相談日を設けています。

学習支援システム

放課後を中心に、チューター付き自習室「セルスタ」を開設しています。

自学自習の習慣づけと 学習時間の確保・学習支援

- 専任のチューターが常駐して質問に対応します。
- 自習室で集中して学習に取り組むことができます。
- 入退室管理システムにより、一人ひとりの学習時間を管理します。
- 分からないことがあれば個別にチューターに質問ができます。
- 学期中は19:40まで、長期休暇中も9:00～17:00で開室しています。

京都女子大学



仏教精神に基づく「心の教育」により、情緒豊かで高雅な、社会に貢献できる女性人材を育成。その歴史と伝統を受け継ぎながら、時代に合わせて発展すべく、2011年には女子大学として初の法学部を設置し、さらに2023年には、データサイエンス学部を開設するなど新たな挑戦を続けています。また、2027年には新たに理系の食農学部(仮称)の開設も計画しています。
※設置構想中：計画中であり、変更が生じる可能性があります。

2025年度入試
京都女子大学
推薦枠
合計 208

学部	学科	人数
文学部	国文学科	合計60
	英語文化コミュニケーション学科	
	史学科	
発達教育学部	教育学科	29
心理共生学部	心理共生学科	23
家政学部	食物栄養学科	17
	生活造形学科	17
現代社会学部	現代社会学科	31
法学部	法学科	17
データサイエンス学部	データサイエンス学科	14

大学合格実績

卓越した授業と長年培った大学入試対策力で、難関大学への道を開きます。

国公立大学

72名 (60)

関関同立

210名 (185)

医歯薬看護獣医

125名 (98)

■2025年3月 京都女子高等学校 卒業生合格実績（普通科281名、ウイステリア科67名 卒業）

国立大学

49名 (40)

東京大学	2(2)	筑波大学	2(1)	山梨大学	1(1)
京都大学	3(2)	大阪教育大学	3(3)	信州大学	1(1)
大阪大学	3(1)	北海道大学	1(1)	三重大学	1(1)
神戸大学	8(7)	帯広畜産大学	1(0)	鳥取大学	3(3)
京都工芸繊維大学	5(4)	千葉大学	2(2)	広島大学	1(1)
京都教育大学	2(2)	電気通信大学	1(1)	徳島大学	1(0)
奈良女子大学	2(2)	金沢大学	1(1)	愛媛大学	2(2)
滋賀大学	2(2)	福井大学	1(0)		

公立大学

23名 (20)

京都府立大学	2(2)	石川県立大学	1(1)
京都府立医科大学	2(2)	福知山公立大学	1(1)
京都市立芸術大学	1(1)	長岡造形大学	1(0)
大阪公立大学	10(10)	和歌山県立医科大学	1(0)
滋賀県立大学	4(3)		

私立大学

同志社大学

48名 (41)

早稲田大学	4(3)
慶応義塾大学	1(1)
明治大学	4(2)
上智大学	8(7)
法政大学	1(1)

立命館大学

88名 (79)

中央大学	4(4)
津田塾大学	1(1)
近畿大学	53(39)
龍谷大学	60(51)
同志社女子大学	29(26)

関西大学

48名 (43)

京都産業大学	43(37)
大阪医科薬科大学	11(10)
関西医科大学	12(11)
兵庫医科大学	3(1)
金沢医科大学	1(0)

関西学院大学

26名 (22)

川崎医科大学	1(1)
大阪歯科大学	12(10)
京都薬科大学	14(12)
神戸薬科大学	3(3)
国際医療福祉大学	1(0)

京都女子大学

150名 (142) うち内部推薦98名を含む

武庫川女子大学	1(1)
摂南大学	28(28)
など	

医歯薬 看護獣医

医学科

22名 (11)

うち国公立大医学科

3名 (2)

歯学科

15名 (11)

薬学科

49名 (39)

看護学科

36名 (36)

獣医学科

3名 (1)

※()内の数字は現役生による実績です。 ※2025年4月1日現在の実績です。

指定校推薦

指定校推薦とは、一部の私立大学から推薦枠が与えられる入試制度です。校内の選抜は、高校3年間の学業成績を中心に総合的に判定されます。私立大学への指定校推薦枠は原則普通科文理コースが優先されます。

※履修科目や課外活動について条件がついている大学もあります。
※数字は指定人数

2025年度入試 指定校推薦枠

早稲田大学	2	大阪医科薬科大学	3
慶応義塾大学	1	大阪歯科大学	4
関西大学	15	近畿大学	6
関西学院大学	18	上智大学	1
同志社大学	13	東京理科大学	1
同志社女子大学	5	明治大学	1
立命館大学	12	中央大学	2
京都薬科大学	2	北里大学	1
その他 640以上			



卒業生からのメッセージ

中高6年間を京都女子中学高等学校で過ごし、未来へ向かって羽ばたく卒業生たちからのメッセージ。(2025年3月卒業生)

東京大学 理科Ⅱ類



森本 紗智子さん

京都女子中学校を選んだ理由の一つは、難関国立大を目指すコースの存在でした。落ち着いた環境で勉強に集中でき、同じ志を持つ仲間がいたことは受験の大きな支えとなりました。高校の化学実験を通じて薬学に興味を持ち、最先端の研究設備がある東京大学薬学部を志望しました。部活や学校行事で忙しくても毎日必ず机に向かって10分でも勉強するようにし、定期考査で全教科満点を目指して励んでいました。また、生活リズムを崩さないようにも心掛けました。将来は創薬の研究を通じ、誰もが安心して使える新薬を開発し、難病治療に貢献したいと考えています。

慶應義塾大学 商学部 商学科



村田 海緒さん

オープンキャンパスで出会った先輩の朗らかで爽やかな姿に憧れ、京都女子中学校を志望しました。部活動や行事を通じて積極性の大切さを学び、軽音楽部ではリーダーとして責任感やコミュニケーション能力を培いました。日々の練習と改善を重ねる習慣が、受験勉強にも活かされたように感じています。多様な価値観を持つ仲間と成長できる環境を求め、進学先を選びました。将来はレコード会社でグローバルマーケティングに携わり、日本の音楽文化を世界へ広めたいと考えています。そのため大学では英語に加え、第二外国語の習得にも励みたいのです。

神戸大学 国際人間科学部 グローバル文化学科



柳本 莉子さん

幼い頃から本が大好きで、京都女子中学校の充実した図書館に惹かれました。紺地のセーラー服に映える白のリボンが可愛いと思ったことも入学を決めた理由です。授業がきっかけで英語を好きになり、モチベーション高く勉強を続けることが出来ました。英語は文系理系問わず大切な教科で、進路選択の幅を広げられた点でも先生方には感謝しています。大学ではグローバルな視野を持ち、ジェンダー論を中心に多くのグローバル 이슈を学んでいきたいです。多くの方とコミュニケーションを取りながら、全ての人がその人らしく生きられる社会づくりの一助となる国際人になることが私の夢です。

京都女子大学 文学部 英語文化コミュニケーション学科



角 早耶香さん

幼い頃から親しんだ環境で学びたいと考え、京都女子中学校に入学しました。ウイステリア科での多彩な学びを通じて将来を考えながら、部活動や行事にも集中して取り組みました。特にウイステリアリサーチでは京都の文化や歴史を深く学び、高大連携授業では大学の単位を取得し、余裕を持って進学できました。京都女子大学で英語をさらに学び、特にコミュニケーション力と異文化理解を深めたいと考え、英語文化コミュニケーション学科を志望しました。大学では英語力を高めて留学し、教員免許を取得して異文化の魅力や理解の大切さを伝えられる力を身につけたいです。

北海道大学 法学部



國枝 由莉さん

歴史が好きで伝統校を希望していた私に、両親が京都女子中学校を勧めてくれました。見学会での先輩方の笑顔に惹かれ、近隣の歴史的建造物を学べるのも魅力で入学を決めました。学校行事では協力の大切さを学び、受験勉強では友達と共に励まし合うことがモチベーションになり、共に全力で取り組みました。北海道大学は、クラーク博士の「Boys be ambitious」という言葉が大好きでずっと魅力を感じていました。法学部で幅広い分野に触れ、柔軟な対応力を身につけて、将来は警察官になって皆が安心して暮らせる街づくりに貢献したいと思っています。

大阪公立大学 医学部 医学科



加藤 みのりさん

附属小学校時代、上品で気配り上手な振る舞いをされる先輩方に憧れて京都女子中学校に入学しました。在学中は伝統を重んじる校風の中で、勉学や学校行事に集中できました。友人と受験を乗り越えた経験は、かけがえのない財産です。進学先の大学を決めたきっかけは、大阪公立大学の講演会です。講師の先生が「技術だけでなく思いやりのある医師を目指すべき」と語られ、私の理想の医師像が変わりました。大学では海外留学を通じて医療技術や英語力を磨き、外国の方も安心して受診できる環境づくりに貢献できる医師になりたいと思っています。

社会で活躍する卒業生からのメッセージ

京都府立医科大学大学院医学研究科 消化器内科学(大学院生)

堀川 はるなさん

2011年3月 京都女子高等学校 卒業
東京女子医科大学 医学部 卒業

医師である両親の姿を見て自然と憧れを抱き、自身も医師を目指すことを決めました。京都女子を選んだきっかけは、実は中学校のセーラー服に憧れてのことです。制服が可愛いと毎日の学校生活も楽しくなるので、今でも良い思い出です。自由と個性を尊重する校風も魅力でした。高校では3年間、体育祭の応援団長として多くの人の意見を聞き、一つの目標に向かう大切さを学びました。その経験は今の仕事にも活きていると思います。将来は医師として地域医療に貢献し、また少子高齢化の課題に向き合い、必要な医療を人々に確実に届けられる仕組みづくりにも挑戦したいと思っています。



新校舎〈飛翔館〉紹介

2025年度新設の第一校舎は、自然エネルギーを活用し、光と風を積極的に取り入れる仕組みを導入しています。生徒が6年間かけて省エネルギーと創エネルギーの効果を体感しながら、環境配慮への意識を醸成することができる設計です。



体感型・ZEBスクール

西日本エリアの私立中学校・高等学校では初の『ZEB Ready』認証を取得



ZEB(Net Zero Energy Building)とは

「ZEB」とは、年間の1次エネルギーの収支をゼロにすること、つまり省エネによってエネルギーを削減し、創エネによって使う分のエネルギーを賄い、エネルギー消費量を実質ゼロにすることを目指した建物のことです。

校舎の中央は3階まで吹き抜けで、この「円居(まどい)」をコンセプトとした吹き抜け空間は、天窗から差し込む自然光で空間を明るく、広く感じさせるデザインとなっています。またエネルギーの使用状況や発電量が分かるエコモニターが設置されており、生徒は学校生活の中で省エネの効果を体感できます。**生徒の環境意識を育み、自身が地球環境のためにできることを自発的に考え、継続的な省エネルギー運用に向けて実践的に取り組める学びの場を創出します。**

各教室は「円居」のスペースを囲むように設置され、1階には実験室、クリエイティブルームなど多目的に利用できる特別教室を配置。2・3階に教室があり、大きな窓ガラスを採用した教室は明るく快適に学習できる空間となっています。

また、「オープンライブラリー」として、廊下や教室前など校舎内のあらゆる空間に本棚が配置されているため、いつでも本に触れ、共読スペースで語り合い、知識の共有ができます。本は閉じられた空間にあるものではなく、いつでもどこでも、誰にでも開かれているべきもの。「オープンライブラリー」はそんな想いを形にした図書館です。なお、校舎内で使用されているピクトグラムは、生徒がデザインしたものです。





体育祭



文化祭



文化祭



Event Calendar

- 4
- 入学式
 - 新入生本山参拝
 - 宿泊研修会(1年生)
 - 学力推移調査
 - 新入生歓迎会
 - クラブ紹介
 - 生徒総会

- 5
- 花まつり
 - 親鸞聖人降誕会
 - 中間考査

- 6
- 研究旅行(3年生)
 - 芸術鑑賞会

- 7
- 英語暗唱大会
 - 期末考査

- 8
- 夏休み

- 9
- 文化祭

- 10
- 体育祭
 - 中間考査

- 11
- 学力推移調査
 - 生徒会役員選挙

- 12
- 生徒総会
 - 心の学園記念日
 - 期末考査

- 1
- かるた大会
 - Z会模試

- 2
- コーラス発表会

- 3
- 学年末考査
 - 3年生を送る集い
 - 卒業式

※年度により異なる場合があります。

[年間行事] School Events

京都女子中学校では、文化祭、体育祭をはじめとする数多くの行事をとっても大切にしています。リーダー、サブリーダーなどさまざまな立場を経験することにより、多様な視点から物事を捉え、他者の立場に立って考えられる人になります。また、行事への取り組みの中で培った計画性、創造性、協働性、コミュニケーション能力などの数値化できない力が、学習意欲の向上につながります。



宿泊研修会(1年生)



新入生本山参拝



花まつり



かるた大会



研究旅行(3年生)



コーラス発表会

文化祭

ひとつの目標に向かって、クラスの団結が高まる文化祭。発表するテーマを何にするのか、クラスごとに生徒自らが討議を重ね、劇や展示を作っていきます。生徒の創造力や表現力を培います。



Student's Voice



一人ひとりの個性や意見を大事にしつつ、話し合いを通して解決していく事を学びました。

文化祭では副監督を務め、文化祭実行委員や監督の人たちと一緒に協力してクラスを一つにまとめました。時には意見が食い違い、完成することができるのかと不安にもなりましたが、しっかりと皆で話し合うことでお互いの意見が尊重され、とても良い作品になり、結果を残すことができました。

この経験を通して学んだことは、一人ひとりの個性が違うので意見がぶつかり合うのは当然で、その上で相手とよく話し合うことが大事ということです。冷静になって物事を深く考えることで、相手の意見の良さにも気付くことができ、スムーズに企画を進めていくことができました。この経験を活かし、今後も自分の意見と相手の意見を相互に尊重した良い議論を進めていきたいと思っています。

東雲コース 3年生 佐藤 百華さん

[クラブ活動] Club Activities



バスケットボール部



コーラス部



バトントワリング部



競技かるた部



陸上競技部



オーケストラ部



ダンス部



少林寺拳法部



剣道部

体育系

- 陸上競技部 ■ バドミントン部 ■ ダンス部 ■ バスケットボール部
- バトントワリング部 ■ 剣道部 ■ 少林寺拳法部 ■ テニス部

文化系

- 華道部 ■ 抹茶部 ■ 煎茶部 ■ 箏曲部 ■ 競技かるた部
- オーケストラ部 ■ コーラス部 ■ フォークソング部
- 美術部 ■ 演劇部 ■ ESS部 ■ ホームメイキング部

生徒の声

陸上競技部



顕道コース 3年生
大塚 えりかさん

何事も粘り強く努力することの大切さを学びました。

陸上未経験だった私に、当時の先輩方が優しく教えてくださったことで、ここからクラブなら頑張れそうだなと思い入部しました。練習がきつと感じる日もありますが、やった分だけ記録に繋がることから、何事にも粘り強く努力する姿勢が大切だということを学びました。また、大切な仲間とも出会い、お互いに支え合い活動することの楽しさを知ることができました。

部長として人をまとめるということは難しく、上手いかわからない時もありますが、多くのことが学べる立場だと思うので、プラスに捉えて日々頑張っていきたいと思っています。

ただがむしゃらに動くのではなく、目標を立て実行していくことが大事。

小学校の時に漫画「ちはやふる」に出会って競技かるたを知り、作中で描かれるスピード感のある試合展開に魅力を感じて入部を決めました。活動中は、自分が気づいた事だけでなく、先輩からのアドバイスや他の人の取り方や構えの良いところを取り入れるようにして、一つ一つの試合がより良いものになるように心がけています。1年生の頃は何も考えずにただがむしゃらに札を取っているだけでしたが、それでは強くなれなかったため、「目標を立ててから実行すること」を考えるようになりました。これは部活だけでなく勉強面でも役立っています。

競技かるた部



顕道コース 3年生
一瀬 由梨枝さん

[1日のスケジュール] Daily Schedule

8:30



登校

女坂を登って学校へ。「おはようございます」の元気なあいさつから1日が始まります。

8:40



午前の授業

生徒の興味・関心を刺激する授業によって、やる気を高め、さらなる学習意欲を引き出します。

8:30



礼拝(週1回)

毎週金曜日に「朝の礼拝」が行われます。

15:00



終業

7限目がある場合は16:00終業
終業の後には、クラブ活動や自習など、思い思いの時間を過ごしています。
チューター付き自習室(セルスタ)が開設されています。(詳しくはP11へ)

13:10



午後の授業

女子だけだからこそ、授業でも発言しやすく集中力も高まります。また、意見交換も活発です。

12:30



昼休み

友人との楽しい昼食タイム。午後からの授業に備えます。

15:30



クラブ活動

勉強と両立し、充実した6年間を送っています。

17:30



下校

充実した1日を過ごした後は、友人たちとの会話を楽しみながら、それぞれの家路へ。

[制服紹介] School Uniform

学校の創立時よりほとんど姿を変えていない制服に、スラックスを加えました。多くの方に本校生であると認知していただいており、登下校時の安心と安全につながります。



校章について

制服の胸元には、建学の精神を表した一文字の藤の花の校章がついています。藤の花は、藤棚に支え生かされ、頭を垂れて咲いています。

校章は、自分は頭を垂れているけれども、人からは見上げられている謙虚な姿勢を象徴的に表しています。



2026年度生徒募集概要

募集定員 約180名(内部進学者を除く)

	東雲(しのめ)コース	藤華(とうか)コース
A入試	約35名	約70名
B1入試	約15名	約30名
B2入試	約10名	約20名
計	約60名	約120名

出願資格

A入試 B1入試 B2入試	①2026年3月に小学校卒業見込みの女子児童であること。 ②自宅からの通学が可能であること。 ※「通学が可能」とは、通学時間が片道1時間30分以内を目安とします。 ※志願区分 ①藤華コースのみ ②東雲コース・藤華コース (東雲コースを第1志望、藤華コースを第2志望とする)
---------------------	--

出願手続

A入試 B1入試 B2入試 (WEBのみ)	出願期間 : 2025年12月24日(水) ~2026年1月12日(月・祝) 入学検定料 : 20,000円(1回分出願) 35,000円(2回分出願) 45,000円(3回分出願)
--------------------------------	---

入学試験日

A入試	2026年1月17日(土)
B1入試	2026年1月18日(日)
B2入試	2026年1月19日(月)

入学試験(入試科目と配点)

A入試	国語(60分・100点) 理科(40分・100点)	算数(60分・100点) 社会(40分・100点)
B1入試	国語(60分・100点)	算数(60分・100点)
B2入試	国語(60分・100点)	算数(60分・100点)

選考方法

A入試	受験科目4教科型(国語・算数・理科・社会)、または3教科型(国語・算数・理科)を出願時に選択します。出願後の変更は一切できません。 【4教科型受験の場合】 ■東雲コース ①国語・算数・理科・社会各100点の計400点満点 ②国語・算数・理科各100点の計300点満点を3分の4倍した400点満点 ※①、②のうち高い点を採用して選考します。 ■藤華コース ①国語・算数・理科・社会各100点の計400点満点 ②国語・算数・理科各100点の計300点満点を3分の4倍した400点満点 ③国語・算数・社会各100点の計300点満点を3分の4倍した400点満点 ※①、②、③のうち最も高い点を採用して選考します。 【3教科型受験の場合】 東雲コース、藤華コースともに国語・算数・理科各100点の計300点満点を3分の4倍した400点満点で選考します。
B1入試	東雲コース、藤華コースとも国語・算数各100点の計200点満点で選考します。
B2入試	東雲コース、藤華コースとも国語・算数各100点の計200点満点で選考します。

合格発表(予定)

A入試	2026年1月18日(日)
B1入試	2026年1月19日(月)
B2入試	2026年1月22日(木)

遠隔地からの受験について

入学時(2026年4月)に、保護者の勤務等の関係で住居が本校の通学圏内に変わる状況が発生する場合は、遠隔地からの受験を認めています。その場合は、副申書(本校指定用紙)が必要となります。副申書は出願期間の最終日までに[消印有効]本校入試広報部まで郵送してください。

学費等について

- 入学金 150,000円(初年度のみ)
 - 授業料 600,000円 教育充実費 150,000円 諸会費 16,800円
 - 学年費 約85,000円(中学1年生の場合)
 - その他、旅行積立費等の費用が必要です。
- ※2025年度実績

奨学金制度 ー本校独自の奨学金制度ー

名誉校長奨学金
経済的理由により就学困難な生徒に対し、給付されます。近年の一人当たりの年間給付額は、5万円~15万円です。
保護者会奨学金
本校の保護者会が行っている奨学金制度で、経済的理由により就学困難な生徒に対し、給付されます。近年の一人当たりの年間給付額は、5万円~15万円です。
姉妹同時在籍者の学費軽減措置
中学校・高等学校に同時在籍する姉妹のうち、その二人目からを対象に、入学金、教育充実費の1/2相当額(教育充実費には所得制限あり)を給付し、保護者の学費負担を軽減します。

2025年度入試状況

入試結果				
志願区分		志願者数	受験者数	合格者数
A入試	東雲	118	116	37
	藤華			66
B1入試	東雲	295	287	117
	藤華			137
B2入試	東雲	325	220	71
	藤華			98
合計		738	623	526

受験者平均点					
志願区分	国語	算数	理科	社会	合計
A 入試(400点満点)	58.4点	58.6点	49.3点	64.8点	238.9点※
B1 入試(200点満点)	61.4点	58.7点			120.1点
B2 入試(200点満点)	59.8点	66.1点			125.9点

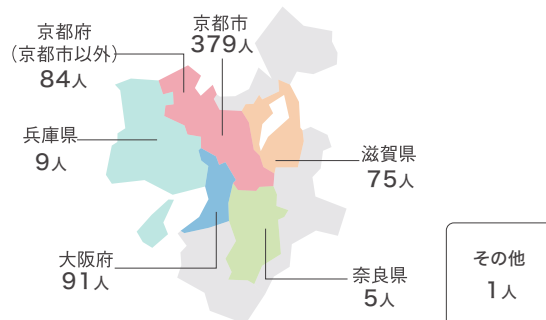
※3教科型受験、4教科型受験を実施し、最も合計点の高かったものを採用しています。

合格最低点		
志願区分	東雲	藤華
A 入試(400点満点)	258	171
B1 入試(200点満点)	130	90
B2 入試(200点満点)	148	113

生徒状況

クラス編成(2025年4月現在)			
1年	2年	3年	計18クラス 644名
6クラス216名	6クラス216名	6クラス212名	

在校生通学エリア



教育改革 時代の大きな流れ

京女は、

激変の時代を人間としてどう生きるべきか
建学のこころを大切にし
生きる意味・生きる喜びを
味わうことのできる心の学園

京女は、

ジェンダー枠にとらわれず
伸び伸びと自分の適性・個性が発揮でき
自己肯定感・自己有用感が育まれ
夢がかなえられる女子の学園

京女は、

人類の平和と幸福を願い
パーソナリティーの完成に向けて
教育改革を進めていく先進的な学園

京女は、

力強くしなやかに感謝とおもいやりの
ところで未来に羽ばたき
変容する社会に貢献できる
「生き抜く力」を育む学園

京女は、

勉強だけ自主活動だけでなく
勉強も自主活動も大切にし
仲間とともに成長できる楽しい学園

そんな環境が整っている学校、
それが京女です。

新しい校舎でともに学びませんか。

校長 林 信康

